

いぎ まもる  
井木 守議員

## 公共交通政策を問う

### 市民のくらしに寄り添う 行政運営を



**議員** 笠岡市では地域の取組みをどう支援しているのか。

**市長** 数地区で地域の実情に合った地域交通の取組みを行っており、その活動に対し魅力あるまちづくり交付金を交付している。

**議員** 地域の主体的な公共交通が軌道に乗れば、バス路線維持の補助金を地域の取り組みに振り向かれるのではないか。

**政策部長** 基幹の路線を残しつつ、他の方法でき間を埋めながら、交通権を確保するのが考え方だとと思う。その上で、現在の支出額を超えない考え方ができると考えている。具具体化していけばと考えて

**市長** 先進的な取り組みを参考に、市民への寄り添った生活相談のため、今後に向けて研究したい。

**議員** 個別の課での対応を通じて、生活困窮者を生活総合支援につなげる体制などはあるか。

**市長** 現在は個々の窓口で対応する体制になっているが、例えば臨戸訪問をする際は、生活状況に応じた計画的な支払い方法を一緒に考えるなどの対応を心がけている。

**議員** 滋賀県野洲市では、「くらし支え合い条例」を制定し、市民生活相談課をつくり、生活困窮などの相談に対応している。笠岡市でも、市民の生活相談に積極的に応える条例制定と体制整備を進めるべきではないか。

**議員** 今すぐできる対策、県や国に対して求めるべき対策として、  
①持ち時間数の上限を定め、そのための定数改善計画を立てる。  
②学校の業務を削減する。

※他、「教科化された道徳」、「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画（素案）」の質問をしました。

## 学校をよりよい教育の場に

ひのつ みちこ  
樋之津倫子議員

**議員** 教育現場の長時間労働の実態と改善に向けた対策をたずねる。

また、長時間労働は子どもや保護者を含め、深刻な影響があると思うが、影響とその原因をたずねる。

③残業時間規制など教職員の働くルールを確立する。  
④非正規職員の正規化と待遇改善を進める。

この4点を提案したいが、考えを問う。

**教育長** 昨年2月の調査では、平

日1日あたりの平均超過勤務時間が小学校で2時間17分、中学校で2時間21分である。平成29年に業務改善の指針を示し、働き方改革を推進している。原因としては、業務内容の増加が上げられる。教育力の低下や信頼を失うことになるとすると考える。

**教育長** ①定数改善は大変重要な要望であり、国や県に対して強く要望している。  
②業務アシスタンントの配置や、地域人材の活用などで対応している。  
③働くルールづくりに向けて取り組んでいる。  
④本年度から非常勤講師の旅費が改善された。国・県に引き続き強く要望していきたい。

※他、「教科化された道徳」、「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画（素案）」の質問をしました。